

授業展開案 高等学校英語「コミュニケーション英語Ⅰ」

1 テーマ

状況を描写する・S V O C の文

2 I C T 利活用のねらい

S V O C の文について、言語の使用場面を提示し、用法を理解させる。また、スライドで文法のポイントを提示したり、身近な場面設定を提示したりして自己表現活動へつなげる。

3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板

②教材：「S V O C」(Microsoft PowerPoint)

4 I C T 利活用の場面

| 学習内容 | I C T 利活用の場面 |
|---|--|
| <p>前時の本文の内容の振り返り</p> <p>言語の働きについての導入</p> <p>表現の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面を意識しながらターゲット・センテンスを定着させる。 <p>表現活動</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストに合う内容を英語で表現する。 スライドを参考にしてペアでコミュニケーション活動を行う。 | <p>①説明の補助：ダイアログの提示。文字を提示する前に J T E と A L T でダイアログを実演するか動画で提示する等して、音声による導入を行う。</p> <p>②説明の補助：ダイアログに出てきた文を使い、言語の使用場面を意識させながら文法説明を簡潔に行う。</p> <p>③表現活動：電子黒板にイラストを提示して、ターゲット・センテンスを使った文を作らせる。その後、ペアで自分の考えや意見を伝え合う。相手の言った内容に対し、聞き手はコメントをすることを促す。</p> |

5 ICT利活用のポイント

①説明の補助(図1)

教師がALTとダイアログを演じながら、例文を提示する。ALTが不在の場合は前もって録画をしておくと、繰り返し使用ができる。例のように生徒にとって身近な内容のダイアログを考えて、教師が演じることで、生徒の興味・関心を喚起する。文字を提示する前に、生徒とダイアログの内容を簡単に確認する。

M: Oh, there are three typhoons ! One of them may come to Japan.

O: So we will not have to come to school tomorrow. Great!

M: Luckily, it will not come to Saga. But Keep the windows locked just in case.

O: All right. I will tell my classmates.

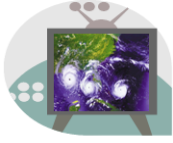


図1 ダイアログの例

②説明の補助(図2)

ダイアログの例文を提示する。生徒にとって身近な例文を提示する。生徒の言語活動の時間を確保するために、教師の文法説明はあまり長くならないようにする。また、スライドの内容を生徒のプリントに記載しておくと、ノートに書き写す時間を短縮することができる。

Luckily, it will not come to Saga.
But Keep the windows locked just in case.

Luckily「幸運にも」 it・・・one of the typhoons
just in case「万一に備えて」

Today's point

Keep the windows locked
保つ Oを Cに

図2 スライドを用いた文法説明

③表現活動(図3)

スライドのイラストを参考に英語で表現の練習を行った後で、自分のことについてペアでコミュニケーション活動を行う。今回学習した文のみではなく、聞き手には相づちや聞きかえしをさせ、自分はどうか等を言わせ、意見や考えを交換させる。

Practice①

下の絵に対して続くセリフを入れてみよう。
(Keep O Cの形を使ってみよう)

It's very cold !

Wear this coat,
It will ()...

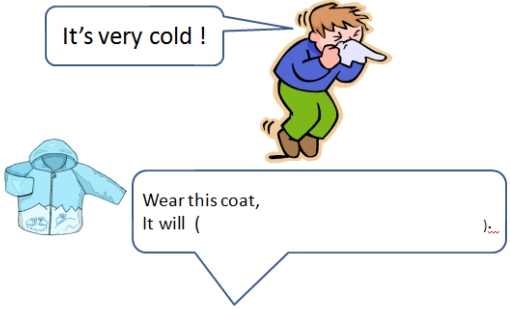


図3 表現活動